

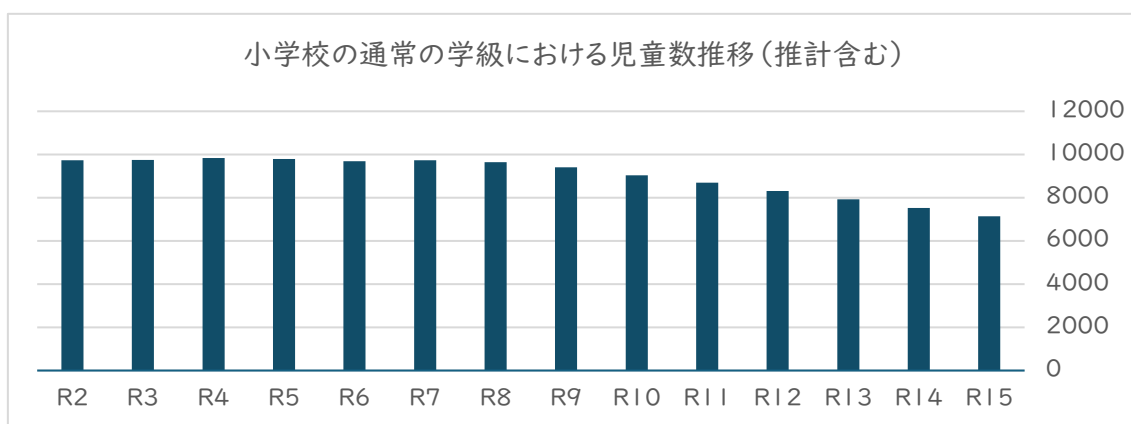
## 西東京市におけるこれまでの特別支援教育の取り組みについて

## 1 西東京市における通常の学級の児童・生徒数

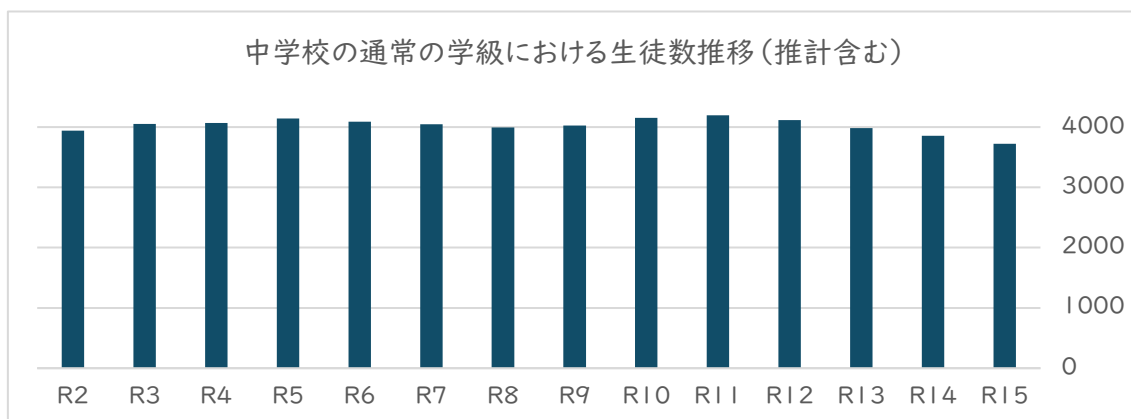
西東京市立学校は18校、中学校は9校設置されています。

【通常の学級における児童数・生徒数の推移（推計含む）】

単位：人



単位：人



出典：西東京市特別支援学級配置計画（令和7年1月）

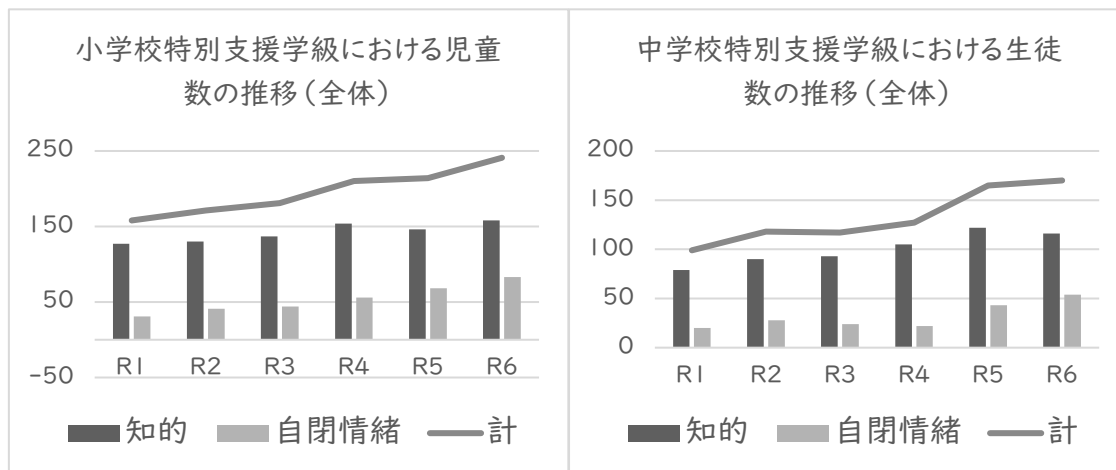
## 2 特別支援学級の設置状況

特別支援学級は小学校7校（田無小学校、中原小学校、東小学校、柳沢小学校、本町小学校、住吉小学校、けやき小学校）、中学校5校（田無第一中学校、保谷中学校、ひばりが丘中学校、青嵐中学校、柳沢中学校）に設置されています。また、各校知的学級、自閉・情緒学級（令和8年度か

らの特別支援学級新設校は知的学級のみ)が併設されています。

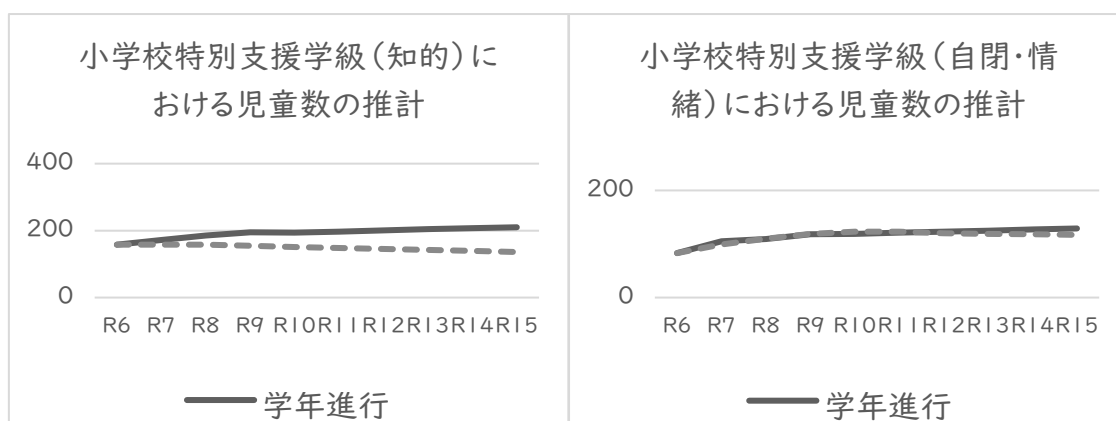
【特別支援学級における児童数・生徒数の推移】

単位：人



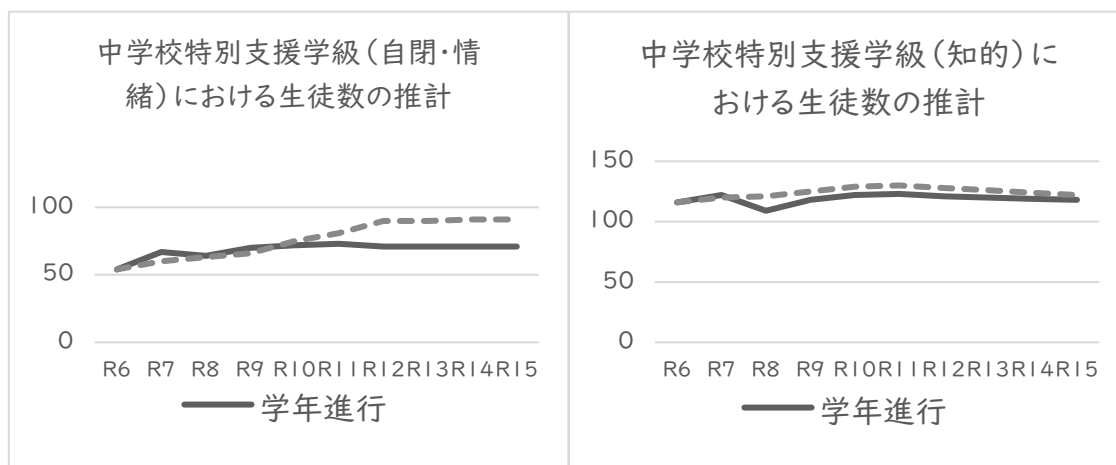
【小学校特別支援学級における児童数の推計】

単位：人



【中学校特別支援学級における生徒数の推計】

単位：人



出典:西東京市特別支援学級配置計画(令和7年1月)

## 3 特別支援教室の設置状況

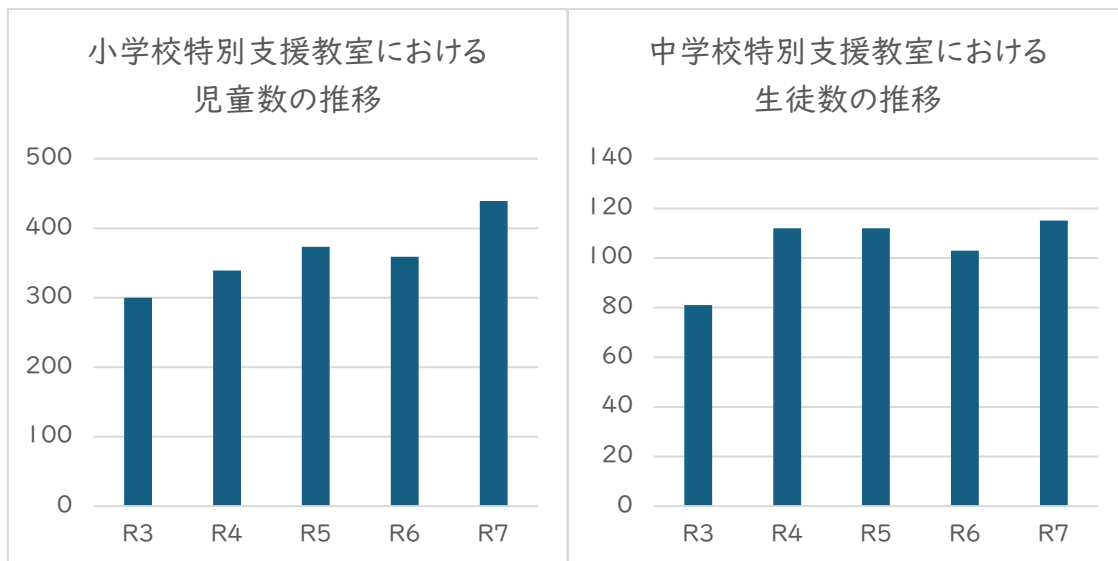
特別支援教室は巡回指導教員が拠点校から巡回校に巡回し指導を行っています。

<拠点校と巡回校>

| 拠点校 | 保谷第一小 | 谷戸小   | 東伏見小  | けやき小 | 田無第二中  | 明保中 |
|-----|-------|-------|-------|------|--------|-----|
| 巡回校 | 碧山小   | 田無小   | 保谷小   | 向台小  | 田無第一中  | 保谷中 |
|     | 栄小    | 中原小   | 保谷第二小 | 芝久保小 | ひばりが丘中 | 青嵐中 |
|     | 東小    | 谷戸第二小 | 柳沢小   | 上向台小 | 田無第三中  | 柳沢中 |
|     | 住吉小   |       | 本町小   |      | 田無第四中  |     |

【特別支援教室における児童数・生徒数の推移】

単位:人



出典:西東京市特別支援学級配置計画(令和7年1月)

#### 4 西東京市におけるこれまでの特別支援教育の取組

平成 26 年5月 西東京市教育支援推進プラン(平成 26 年度～平成 30 年度)

西東京市特別支援教育検討委員会において、課題を整理・検証。特別支援教育の仕組みと内容・方法を考え、教育計画に反映することを目的として検討を重ねました。

##### <主な内容>

- ・本プランの達成状況の把握と必要な研究・検証を行うために「教育支援推進委員会」を設置
- ・教育支援システムの構築(一覧表、個別の教育支援計画、個別指導計画等の市内統一した教育支援ツールの活用)
- ・教育委員会からの専門家派遣(専門家チーム、教育支援アドバイザー)
- ・校内支援の充実(指導補助員の活用、特別支援教室の検討)
- ※指導補助員は令和2年度から学校生活支援員へ移行
- ・ことばの教室担当教員による全小学校へのスクリーニング(発音・話し方調べ)実施
- ・外国語を母語とする児童・生徒への教育の充実(日本語適応指導)
- ・特別支援学級の充実と学級の整備
- ・副籍制度による交流等の実施
- ・就学支援シートの活用
- ・個に応じた教育実践を支える教育委員会の役割の発展

平成 30 年4月 小学校特別支援教室の設置(個別指導のみ)

令和元年5月 西東京市教育支援推進プラン(平成 31(令和元)年度～令和5年度)

西東京市教育計画に施策体系を対応させ、教育計画との整合性を図りつつ、教育支援・特別支援教育の分野に特化した施策を展開しました。

##### <主な取組>

- ・校内委員会の充実
- ・教育支援システムの活用の推進

- ・小学校第1学年の発音・話し方調べの実施
- ・マルチメディアデイジーの活用
- ・教育委員会から学校への専門家派遣
- ・就学支援シートの活用
- ・副籍制度を活用した交流の推進

令和3年4月 中学校特別支援教室の開設（個別指導のみ）

令和4年4月 ひばりが丘中学校特別支援学級開設・けやき小学校特別支援教室拠点校化

令和6年4月 全小・中学校において特別支援教室小集団指導の開始

## 5 【概要】(仮称)西東京市特別支援教育推進計画アンケート調査結果

西東京市立小・中学校に通う児童・生徒及びその保護者、西東京市立小・中学校教員に対して特別支援教育に係る考えや意見を聞き、調査結果を計画策定の検討を進める上での基礎資料として活用するためにアンケート調査を実施しました。

### 1 調査期間

令和7年10月20日から令和7年11月17日まで

### 2 対象者

(1) 全市立小学校の通常の学級に在籍する2年生、4年生及び6年生児童

(各学年全クラス)

全市立中学校の通常の学級に在籍する2年生生徒(全クラス)

特別支援教室又はことばの教室利用者も含む。

(2) (1)対象児童・生徒の保護者

(3) 市立小学校の特別支援学級に在籍する2年生、4年生及び6年生児童(全員)、

市立中学校の特別支援学級に在籍する2年生生徒(全員)

(4) (3)対象児童・生徒の保護者

(5) 全市立小・中学校の教員(全員)

### 3 実施方法

WEB アンケート「LoGo フォーム」で実施。

(1) 教育指導課で作成したアンケートお知らせ文書を学校へ配布。

(2) 児童・生徒は GIGA 端末で回答。

(3) 保護者へはすぐーるでお知らせし、自身のスマートフォン等で回答。

### 4 回答状況

| 番号  | 対象               | 対象者数    | 回答数     | 回答率   |
|-----|------------------|---------|---------|-------|
| 1-1 | 通常の学級小学校2年生      | 1,569 人 | 1,183 人 | 75.4% |
| 1-2 | 通常の学級小学校4年生・6年生  | 3,272 人 | 2,258 人 | 69%   |
| 1-3 | 通常の学級中学校2年生      | 1,369 人 | 866 人   | 63.3% |
| 2   | 通常の学級保護者         | 6,210 人 | 1,293 人 | 20.8% |
| 3-1 | 特別支援学級小学校2年生     | 44 人    | 38 人    | 86.4% |
| 3-2 | 特別支援学級小学校4年生・6年生 | 113 人   | 85 人    | 75.2% |
| 3-3 | 特別支援学級中学校2年生     | 50 人    | 34 人    | 68%   |
| 4   | 特別支援学級保護者        | 207 人   | 58 人    | 28%   |
| 5   | 西東京市立小・中学校教員     | 822 人   | 468 人   | 56.9% |

## アンケート回答のまとめ

## (1) 通常の学級に在籍する児童・生徒

- ・学校生活で困った時に相談できる先生や大人は、「担任の先生、担任以外の先生」に相談できると答えた児童・生徒が半数以上いた。
- ・学校生活で困っていることはない児童・生徒が3割弱、相談できる大人はいないと答えた児童・生徒は5%程度であった。
- ・特別支援教室については半数以上が知っているが、ことばの教室を知っている児童・生徒は2割程度であった。
- ・普段の学校生活の中でこういう手助けがあったらいいと思うことは、「話が一度で聞き取れなかった時に繰り返してもらえる」「授業で困っている時に手助けしてくれる人」「イライラしたり悲しい気持ちになった時に落ち着ける静かな部屋」の順に回答が多かった。

## (2) 通常の学級に在籍する児童・生徒の保護者

- ・就学支援シートを作成したことがある保護者は15%であった。
- ・特別支援教室を現在利用又は過去に利用したことがある人数は11%、ことばの教室を現在利用又は過去に利用したことがある人数は2%となっている。
- ・個別の教育支援計画を作成したことがある人数は6%、個別指導計画を作成したことがある人数は6%となっている。
- ・自由記述では、特別支援学級の増設、個別の教育支援計画・個別指導計画の周知、特別支援教育全般に関する情報発信について意見が挙がっている。

## (3) 特別支援学級に在籍する児童・生徒

- ・学校生活が「とても楽しい・まあまあ楽しい」と答えた児童・生徒が9割程度であった。
- ・学校生活で困ったことはないと答えた児童・生徒が3割程度であった。

## (4) 特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者

- ・特別支援学級の指導内容について「大変良い・良い」と答えた保護者が83%であった。
- ・特別支援学級における指導環境について「大変良い・良い」と答えた保護者が77%であった。
- ・教育委員会からの特別支援教育についての情報発信について「大変良い・良い」と答えた保護者が36%、「あまり良くない・良くない」と答えた保護者が36%であった。
- ・教育委員会の相談窓口の体制について「大変良い・良い」と答えた保護者が31%、「あまり良くない・良くない」と答えた保護者が36%であった。
- ・自由記述では、就学支援シートの活用、交流及び共同学習の要望、療育機関等との連携、進路について等の回答が挙がっている。

## (5) 西東京市立小・中学校教員

- ・校内支援体制の人的環境整備について、「大変良い・良い」と答えた教員が53%、「あまり良くない・良くない」と答えた教員が42%であった
- ・教育支援システムの活用の推進について、「大変良い・良い」と答えた教員が43%、あ

まり良くない・良くない」と答えた教員が 50%であった。

- ・インクルーシブ教育の充実について、「大変良い・良い」と答えた教員が 53%、「あまり良くない・良くない」と答えた教員が 34%であった。
- ・特別支援教育の推進に必要なだと考えることは、「個に応じた教育支援を行うための支援員の充実」「特別支援教育に関する環境整備（施設等ハード面の予算）の充実」「特別支援教育に関する教材・教具（ソフト的な予算）の充実」の順に回答が多かった。
- ・自由記述では、特別支援教育の関係書類・書式の整理について、特別支援教室拠点校の増について等の意見が挙がっている

#### <今後の方向性>

- ・通常の学級の児童・生徒にとっての「分かりやすい授業」や「普段の学校生活の中で、こういう手助けがあったらいいなと思うこと」などの回答を踏まえて、指導・支援に活かす。
- ・特別支援学級の児童・生徒にとっての学校生活が今後も充実するよう、特別支援学級の指導・支援体制、環境整備の充実に取り組む。
- ・就学支援シート・個別の教育支援計画・個別指導計画については知らない保護者も多く、保護者への周知を図りつつ活用を推進する。
- ・保護者や教員から求められている、特別支援教育の環境整備（施設等ハード面・ソフト面）や学校の人的環境整備の充実に取り組む。
- ・就学相談において保護者から求められている、就学相談の仕組み、多様な学びの場の周知、本人や保護者の意思を尊重した柔軟な学びの場の決定などに取り組む。

### すべての学びの場における特別支援教育の推進 ～一人ひとりを大切にする教育の推進～

#### 基本方針1 学校における指導・支援体制の充実

校内委員会の充実や個別の教育支援計画・個別指導計画に基づく指導と支援の充実など、学校における指導・支援体制の充実を図ります。そのための教育委員会の取組も合わせて充実を図ります。

#### 基本方針2 特別支援教育を推進する環境の整備と充実

特別支援学級や特別支援教室などの特別支援教育を推進する環境の整備と充実を図ります。施設・設備の環境整備、支援員などの人的環境整備、ICT 機器の活用などの充実に取り組みます。

#### 基本方針3 関係機関・家庭・地域との連携

就学前から就学後までの切れ目ない支援体制の充実のため、関係機関・家庭・地域との連携を図ります。地域・保護者への特別支援教育に関する情報発信の充実を図ります。本人・保護者の意思を尊重した柔軟な学びの場を選択できるよう就学相談体制の充実を図ります。